

バラ積みビジョンロボット付切削加工機 白光金属工業が2台導入

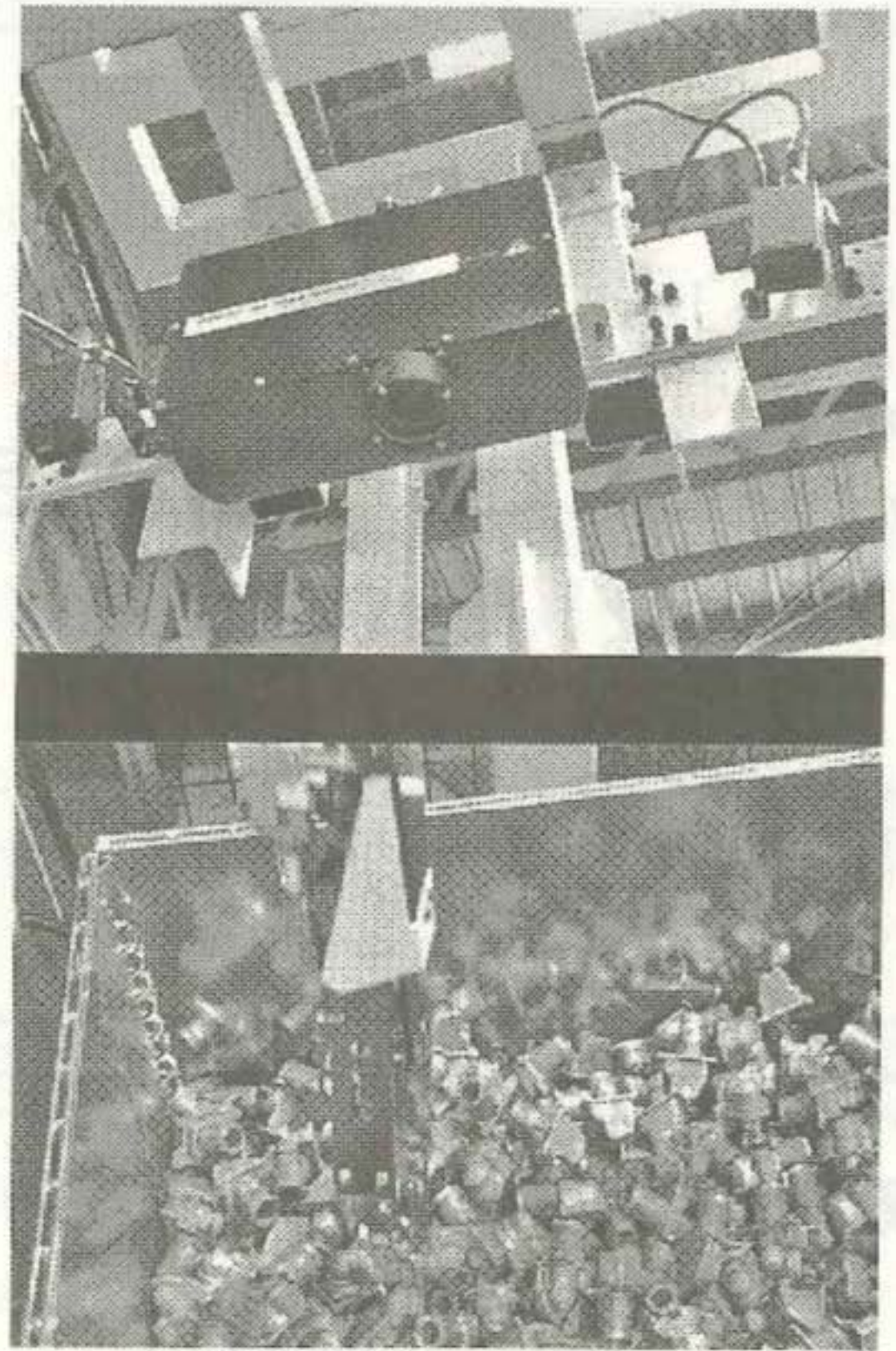
省スペース、省人化

作業員が製品をパレットに並べていたが、歯抜けなどの人的ミスも生じていた。

「バラ積みビジョンロボットは最新鋭機で、業界でも導入はまだ珍しい。パレットに製品を1個ずつ差し込む方式を改め、ロボットでバツカンからピックアップする方式に変えた。これによりスペースは約半分で済む。省人化の点でも汎用機と比べ5分の1となった」（井上達也取締役事業部長）。ロボットアームの爪などは、自社で改良した。

白光金属工業は、世造加工」など、独自の技術力に定評がある。

白光金属工業は、世造加工」など、独自の技術力に定評がある。界トップクラスのほんだごてメーカー・白光のグループ企業。白光（旧・白光金属工業所）は1952年の創業で、鍛銅工具およびはんだ錫を製造販売。1989年にはんだごて製造販売の白光と、金属鍛造加工の白光金属工業に分社している。白光金属工業は「上下左右前後の最大6方向から穴あけ鍛造し、中空形状を成形」、「1千トプレス機と独自開発の高精度ダイヤモンドを組み合わせた大型・複雑形状部品の鍛



バラ積みビジョンロボット付
切削加工専用機のビジョンカ
メラ①と、ロボットアーム